



ネイチャーセンターだより

2020年7月号

新・いきもの図鑑



エゾフウロ (フウロソウ科)

エゾフウロは高さ 30cm ~ 80cm ほどになる草本で、北海道の主に太平洋側と本州の中部以北の日あたりのよい海岸や原野に生育します。ネイチャーセンター周辺では春国岱の海岸砂丘の西側にあるシカ柵の中と、東梅自然学習林のあずまのまわりでよく見られます。花は7~8月に咲き、夏の春国岱を代表する花です。

根室では、エゾフウロとよく似たチシマフウロも見られます。この2種類は花の色とつき方にちがいがあり、エゾフウロはピンク色の花が2つずつつきますが、チシマフウロは紫色の花がたくさんつきます。チシマフウロは根室半島の海ぞいに多く、春国岱や自然学習林ではあまり見られません。

【参考文献】

梅沢俊、2018. 北海道の草花. 北海道新聞社. 北海道.

NEWS

「新北海道スタイル」安心宣言

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「7つの習慣化」に取り組みます！

1. スタッフのマスク着用や手洗い等に取り組みます。
 - ・手洗い、マスク、咳エチケットを徹底します。
2. スタッフの健康管理を徹底します。
 - ・出勤前に検温などの健康チェックを徹底します。
3. 施設内の換気を行います。
 - ・定期的に窓を開け換気を実施します。
4. 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。
 - ・エチルアルコールなどの消毒液を設置します。
 - ・定期的に消毒液による清掃を実施します。
5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・窓口にビニール間仕切りを設置します。
 - ・一定の距離（2m程度）を確保するため、同時にご利用される人数を制限します（図書コーナー）。
 - ・野外行事でも定員を減らし、一定の距離を確保しながら実施します。
6. 施設を訪れる皆さまにもマスクの着用、咳エチケットや手洗いなどを呼びかけます。
 - ・来館者の皆さまに、入館時のマスクの着用をお願いします。
 - ・手指用消毒液や除菌マットを設置し、入館時の消毒をお願いします。
7. 市民の皆さまと連携し感染症対策を実施します。
 - ・ホームページやSNS、施設情報紙を通じ、当館の取組みを市民の皆さまに積極的にお知らせいたします。
 - ・来館者の皆さまも感染症対策へのご協力をお願いします。

見どころMAP



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

7月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	樹木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られる。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることもある。繁殖の季節が終わったため、風蓮湖周辺では巣立った幼鳥が観察できるかもしれない。
タンチョウ	○	タンチョウは、繁殖の季節。春国岱でもヒナ1羽をつれたつがいが見られる。親鳥は、警戒心の強い時期なので、十分な距離を保って観察してほしい。
シギ・チドリ類	+	繁殖を終えたシギ・チドリ類が下旬から渡来し始める。春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採餌の様子が観察できることがある。過去、7月によく観察されたのはキアシシギ、ホウロクシギ、ミヤコドリ。
アオサギ	○	アオサギが多い時には200羽前後が春国岱に集まり、干潮時に水辺でカレイやギンポなどの魚を捕らえる姿が見られる。
春国岱	草原	ヒバリ、ノビタキ、シマセンニュウ、オオジュリンなどが見られる。数は少ないが、キタキツネコースからアカエゾマツコースの木道ぞいでノゴマ、マキノセンニュウも観察できることも。また、これらの巣立った幼鳥が親と共に見られることもある。
	森林	さえずりはだんだん聞かれなくなるが、アカエゾマツコースでルリビタキ、ミソサザイ、アオジ、ヒガラ、シマエナガなどが観察できる。運が良いとクマガラに出会うことがある。
自然学習林		上旬は、ウグイス、センダイムシクイ、ミソサザイ、エゾセンニュウ、シマセンニュウのさえずりを聞くことができるが、中旬以降は下火になる。 ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られ、巣立った幼鳥が親と共に見られることもある。
開花		自然学習林: チシマアザミ・エゾノシモツケソウ・エゾフウロ・サラシナショウマ・オオウバユリ 春国岱:(草原)エゾカンゾウ・ウンラン・エゾオグルマ・シカギク・ハマボウフウ・エゾフウロ(塩性湿地)ウミミドリ・オオシバナ・エゾツルキンバイ・エゾハコベ
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようご注意ください。 マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。 自然学習林の周辺は、スズメバチなどハチの仲間が見られます。刺されるおそれもあるため、手ではらったり、にぎったりしないようにしてください。

タンチョウのヒナ、春国岱で今年も

春国岱では今年、4つがいのタンチョウが湿原に住みついています。そのうちの1つがいがヒナ1羽を連れて見つけました。このつがいは去年も、ヒナ1羽を飛べるようになるまで育てた経験があります。

6月20日には、海岸の砂丘（第一の浜提）とまん中の浜提との間の湿原（中谷地）で、ヒナと親鳥が3羽で食べものを探していました。ヒナは、生まれて最初に生える茶色のふわふわした羽毛の中に、大人と同じような白っぽい羽毛が生えはじめており、ヒナというよりはもう幼鳥と呼んだ方がいいくらいに成長していました。

それでもまだ飛ぶことはできないので、親鳥は人の姿を見るとヒナを連れてヨシ原の中へかくれたり、近づいてきたキタキツネにむかって翼を大きく広げ、突進して追いはらったりしていました。

ヒナが飛べるようになるのは、生まれてから約100日後ですので、順調にいけば9月には、親子で飛ぶ姿が見られると思います。昨年は8月30日には、湿原を飛ぶ親子が観察されています。

ヒナが無事に羽ばたけるよう、私たちレンジャーも見守っていきたいと思います。



2019年8月30日撮影。

まん中を飛んでいるのが幼鳥。今年もこのような姿が見られるかもしれません。

春国岱クイズ

6月、春国岱の森林のまわりで、ハリオアマツバメが2回、観察されました。地球上でいちばん速く飛ぶことができる鳥と言われ、オーストラリアやニュージーランドあたりから根室に渡って来ます。空の高いところから、時には地面のすぐ近くまで飛び回る姿は、すごくカッコいいです。

さてハリオアマツバメは、巣を作る時に、ある鳥の古巣を使うこともあるのですが、その「ある鳥」とは、次のうちのどれでしょうか？

- ① タンチョウ
- ② オジロワシ
- ③ クマゲラ



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

春国岱生きものウォッチング 7/26(日)午前7時～10時

内容：春国岱の海岸から森まで約3kmをゆっくり歩いて、海岸・湿原・森林の花や野鳥を観察します。

服そう：長ぐつ・長そで・長ズボン、歩きやすい服そうで。帽子。マスクをして来てください。

持ち物：水筒、筆記用具、虫よけ対策（手袋・虫よけスプレーなど）。お持ちの方は双眼鏡

対象：小学生以上（17歳以下の方は大人の方とご一緒に） 定員：20人（先着順）

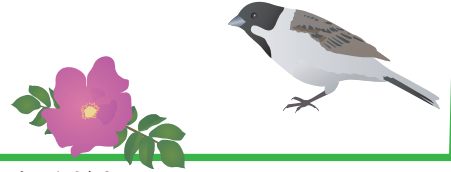
集合・解散：春国岱駐車場

申込方法：電話、メールまたは直接ネイチャーセンターに来館して。

参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。

☎：0153-25-3047

✉：nemu_nc@marimo.or.jp



行事にご参加の方には、受付後、次のことをご確認いただきます。どうぞご理解ください。

体調の不良（平熱を超える発熱、咳・のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすいなどの症状）がないこと。

行事の日の14日前以降に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がないこと。

同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいないこと。

行事の日の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。

行事保険では新型コロナウイルス感染症等特定感染症を対象としていないこと。

★工事のお知らせ：春国岱橋の補修工事のため、8月に車両通行止めになる予定です。くわしい日程は、決まりしだい、ホームページ・フェイスブックに掲載します。（歩いて通ることはできます）

募集中！

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い（基本的に最終火曜日）、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることは遠慮ください



クイズのこたえ 答 ③ ハリオアマツバメは大きな木の幹にできる、深さ1m以上の大きな穴の中に巣を作ります。クマガラが掘った巣穴を利用した例も見つかっています。

参考文献 中村登流他. 原色日本野鳥生態図鑑陸鳥編. 保育社. 藤井忠志他. 2011. クマガラの巣穴を利用する鳥獣. 野生生物保護 13(1):37-40. 米川洋他. 2018. 北海道におけるハリオアマツバメの繁殖分布と生態. 日本鳥学会新潟大会講演要旨 44.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：（開館時間9：00-17：00）

7月1・8・15・22・27・28・29日

8月5・11・12・19・26日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制）

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録